

会員限定

2020年2月度
金融マーケティング研究会
2020年2月18日(火)

金融機関における SDGs 入門

講師:石丸 亜矢子

接点合同会社 代表社員

新潟薬科大学 特任講師

高度情報処理技術者 (システムアナリスト、システム監査技術者、アプリケーションエンジニア)

国家資格キャリアコンサルタント

CONTENTS

目次

金融機関における SDGs 入門

| | |
|--|----|
| Slide 2 目次 | 8 |
| 1.SDGs とは | 8 |
| Slide 4 SDGs とは | 10 |
| Slide 5 SDGs の特徴 | 10 |
| Slide 6 8 つの優先課題 | 12 |
| Slide 7 SDGs のロゴ | 12 |
| Slide 8 SDGs の 17 の目標 | 14 |
| Slide 9 SDGs のターゲットとターゲット実施手段 | 14 |
| Slide 10 (参考) SDGs の日本語版 | 16 |
| Slide 11 SDGs の実施要綱 | 16 |
| Slide 12 1.SDGs とは (参考) SDGs 測定指標の総務省仮訳 | 18 |
| 2. 背景と経緯、進捗状況 | 18 |
| Slide 14 「持続可能」な「開発」が必要とされるようになった背景とは? | 20 |
| Slide 15 サステナビリティとは | 20 |
| Slide 16 サステナビリティとは | 22 |
| Slide 17 サステナビリティとは | 22 |
| Slide 18 サステナビリティとは | 24 |
| Slide 19 そもそも「消費」とは | 24 |
| Slide 20 エネルギー消費 | 26 |
| Slide 21 食糧問題 | 26 |
| Slide 22 食糧問題 | 28 |
| Slide 23 水問題 | 28 |
| Slide 24 水問題「バーチャル・ウォーター」 | 30 |
| Slide 25 地球環境の限界「プラネタリー・バウンダリー」 | 30 |
| Slide 26 プラネタリー・バウンダリーの考え方で表現された現在の地球の状況 | 32 |
| Slide 27 SDGs の背景と経緯 | 32 |

| | | |
|--------------------------------|--------------------------------------|-----------|
| Slide 28 | SDGs の背景と経緯 | 34 |
| Slide 29 | SDGs の進捗状況 2019 | 34 |
| Slide 30 | SDGs の国別進捗状況 2019 | 36 |
| Slide 31 | SDGs の進捗状況 2019 | 36 |
| Slide 32 | SDGs の進捗状況 | 38 |
| 3. 日本・海外での取り組み事例 | | 38 |
| Slide 34 | 国内での取り組み | 40 |
| Slide 35 | 経団連「Society5.0 for SDGs」 | 40 |
| Slide 36 | 取り組み事例 | 42 |
| Slide 37 | 取り組み事例 | 42 |
| Slide 38 | 取り組み事例 | 44 |
| Slide 39 | 取り組み事例 | 44 |
| Slide 40 | 取り組み事例 | 46 |
| Slide 41 | 取り組み事例 | 46 |
| Slide 42 | 取り組み事例 | 48 |
| Slide 43 | その他の取り組み事例 | 48 |
| 4. 金融機関職員にとっての SDGs の意義 | | 50 |
| Slide 45 | ESG 投資 | 50 |
| Slide 46 | CSV (Creating Shared Value) ; 共通価値創造 | 52 |
| Slide 47 | ESG 投資手法別 国内サステナブル投資残高の増加状況 | 52 |
| Slide 48 | 金融機関に関連するトピックと経緯 | 54 |
| Slide 49 | PRI 責任投資原則 | 54 |
| Slide 50 | PRB 責任銀行原則 | 56 |
| Slide 51 | PRB 責任銀行原則 | 56 |
| Slide 52 | PRB 責任銀行原則の署名行 (日本国内) | 58 |
| Slide 53 | (参考) RSPO (持続可能なパーム油のための円卓会議) | 58 |
| Slide 54 | TCFD 設立の背景 | 60 |
| Slide 55 | 気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) による報告書 | 60 |
| Slide 56 | 気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) による報告書 | 62 |
| Slide 57 | TCFD 報告書の推奨開示内容 | 62 |

| | |
|--|----|
| 5. 採用への活用 | 64 |
| Slide 59 18歳人口の減少 | 64 |
| Slide 60 産業別人口の推移 | 66 |
| Slide 61 大学進学者数の将来推計 | 66 |
| Slide 62 SDGs ネイティブとしてのミレニアル世代 | 68 |
| Slide 63 ミレニアル世代の価値観 | 68 |
| Slide 64 ミレニアル世代のライフスタイルや生き方についての考え方 | 70 |
| Slide 65 学生のSDGs認知度の上昇 | 70 |
| Slide 66 学生のSDGsに対する実践意欲 | 72 |
| Slide 67 大学生のSDGsに関する共感度と認知経路 | 72 |
| Slide 68 大学生のSDGsに関する意識(就職先を選ぶ基準) | 74 |
| Slide 69 (参考)SDGsの浸透度 | 74 |
| Slide 70 (参考)ポスト・ミレニアル世代の価値観 | 76 |
| Slide 71 ポスト・ミレニアル世代の価値観～働き方への姿勢～ | 76 |
| Slide 72 ポスト・ミレニアル世代の価値観～仕事中心か(私)生活中心か～ | 78 |
| Slide 73 ポスト・ミレニアル世代の価値観～会社の選択理由～ | 78 |
| Slide 74 ポスト・ミレニアル世代の価値観～副業やスラッシュキャリアへの意向～ | 80 |
| Slide 75 若い世代が目指す働き方・生き方 | 80 |
| Slide 76 学生との共通言語としての活用 | 82 |
| Slide 77 採用への活用のヒント | 82 |
| Slide 78 まとめ：ミレニアル世代への対応 | 84 |
| 6. コンサルティングへの活用 | 84 |
| Slide 80 ESG地域金融への取り組み要請 | 86 |
| Slide 81 全銀協 金融調査研究会による提言 | 86 |
| Slide 82 SDGs金融による地域の自律的好循環の形成 | 88 |
| Slide 83 ESG地域金融 | 88 |
| Slide 84 ESG地域金融 | 90 |
| Slide 85 ESG地域金融 | 90 |
| Slide 86 ESG地域金融 | 92 |
| Slide 87 ESG地域金融 | 92 |
| Slide 88 TCFD報告書の活用ガイド(環境省) | 94 |
| Slide 89 気候変動による企業経営へのリスクと機会 | 94 |

| | | |
|----------|------------------------|-----|
| Slide 90 | TDFD 提言の要旨 | 96 |
| Slide 91 | TCFD によるリスクの分別 | 96 |
| Slide 92 | TCFD による機会の分別 | 98 |
| Slide 93 | TCFD フレームワークによるシナリオ分析 | 98 |
| Slide 94 | TCFD フレームワークによるシナリオ分析 | 100 |
| Slide 95 | 環境省によるシナリオ分析実践ガイド | 100 |
| Slide 96 | 企業や金融機関に求められる姿勢と役割 | 102 |
| Slide 97 | まとめ：企業や金融機関に求められる姿勢と役割 | 102 |
| ◆ | 質疑応答 | 104 |

ただいまご紹介いただきました接点合同会社の石丸と申します。

本日は、「金融機関における SDGs 入門」と題してお話をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まずはじめに私の自己紹介ですが、接点合同会社という会社を自分でやっております。

経歴は、新卒で富士通金融システムズという会社に入社して、銀行系のシステム開発に従事しておりました。

その後、3年目で転職して、株式会社野村総合研究所で15年間勤務しました。前半はシステムエンジニアとして投資信託のパッケージシステム——もしかしらご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、BESTWAYというシステムの開発に携わっておりました。

途中1年ほど、公共系のプロジェクトでCMMIの適用に従事した後、システムコンサルティング事業本部で、金融機関をはじめとする大企業のお客さまに対するシステム化構想、システム企画、組織改革やIT人材育成、また内部統制、マイナンバー制度対応等に従事してまいりました。

その後、2016年夏に独立し、接点合同会社を設立しております。会社を起業した経緯ですが、より持続可能な社会づくりに携わっていきたいとの考えで、循環型社会を実現するためのIT活用や経営コンサルティングに取り組むことにいたしました。

弊社で現在最も注力しているのは食品ロス対策です。ほかにも循環型社会を実現するための経営・ITコンサルティングを広く行っております。また、本日のテーマのSDGsや、エシカル消費、ビジネスデザイン——特にソーシャルビジネス関連、他に、私自身がキャリアコンサルタントの資格を取得しており大学でも教えているということで、キャリアデザインなどを専門にしております。

本日はSDGsについてお話をさせていただこうと考えております。



金融機関における SDGs 入門

2020年2月18日 接点合同会社 代表 石丸亜矢子

© Ayako Ishimaru 

Slide 1

自己紹介

石丸 亜矢子

接点合同会社 代表社員、 新潟薬科大学 応用生命科学部 特任講師

- 2000-2002年 富士通金融システムズにて、銀行デリバティブシステム、法人IBパッケージシステムの開発に従事
- 2002-2016年 株式会社野村総合研究所にて、15年間勤務
- 2002-2010年 投資信託窓販パッケージシステムBESTWAYの設計・開発・保守・運用・業務研修等に従事
- 2010-2011年 公共系金融機関の保守プロジェクトにて、CMMI適用に従事
- 2011-2016年 システムコンサルティング事業本部にて、金融機関、総合商社、製薬、製造、化学、運輸等のシステム化構想・企画、組織改革、人材育成、内部統制、マイナンバー制度対応等に従事
- 2016年 世の中の不足と余剰をマッチングさせることにより、様々な社会課題を解決したいと考え起業
接点合同会社 (<https://setten.net/>) 設立
- 2017-2018年 新潟薬科大学 応用生命科学部 生命産業創造学科にて、専任助教として勤務
担当科目： IT・情報システム関連、ビジネスデザイン、キャリア関連
- 2019年-現在 接点合同会社にて、企業・自治体への経営・ITコンサルティング、執筆、講演等に取り組む傍ら
新潟薬科大学にて、特任講師として勤務
- 保有資格等 高度情報処理技術者（システムアナリスト、システム監査技術者、アプリケーションエンジニア）
国家資格キャリアコンサルタント、教員免許
- 専門分野 食品ロス対策、SDGs、エシカル消費、ビジネスデザイン、キャリアデザイン など

Slide 2 目次

まず目次ですが、はじめに「SDGs とは」ということで、すでにご存じのことも多いかと思いますが、概要をおさらいしておきたいと思います。

次に、SDGs の背景と経緯、進捗状況を確認しておきます。

3 番目として、日本・海外での取組み事例をいくつかご紹介して、4 番目として、ここが本題になりますが、金融機関職員にとっての SDGs の意義を確認します。

また、金融機関に限ったことではないのですが、今、採用に関連して SDGs がどんな意義を持っているかを 5 番目に取り上げます。

最後に、銀行業務の中でのコンサルティングへの SDGs の活用についてお話をさせていただければと思います。

1.SDGs とは

では、「SDGs とは」に入っていきたいと思います。

目次

金融機関における SDGs 入門

1. SDGs とは
2. 背景と経緯、進捗状況
3. 日本・海外での取り組み事例
4. 金融機関職員にとってのSDGsの意義
5. 採用への活用
6. コンサルティングへの活用



Slide 4 SDGs とは

SDGs とは、日本語では「持続可能な開発目標」と訳される、17 のグローバル目標と 169 のターゲットからなるグローバルな開発目標のことです。

2015 年 9 月に国連総会で採択された「2030 アジェンダ」という文書の中で、世界共通の目標として行動指針と共に示されたもので、総称して SDGs と呼んでおります。

Slide 5 SDGs の特徴

SDGs の特徴です。「no one will be left behind」または「leave no one behind」という言い方もされますが、「誰一人取り残さない」というものが SDGs のスローガンになっております。このスローガンの下、「持続可能な社会の実現を目標とするもの」が SDGs です。

SDGs の 5 つの特徴として挙げられるのが、下の水色の部分に書かれている 5 項目です。1 つ目が普遍性。これは先進国を含め、すべての国が行動するということです。2 つ目が包摂性。これは誰一人取り残さないということ。3 つ目が参画型であるということ。すべてのステークホルダーが役割を帯びて参画するということです。4 つ目として統合性。社会・経済・環境に統合的に取り組む。最後 5 つ目に透明性。定期的なフォローアップを行うというもの。以上 5 つが特徴となっております。

また、右に記載した 5 つの P を構成要素としていいます。5 つの P とは、People (人間)、Planet (地球)、Prosperity (豊かさ)、Peace (平和)、Partnership (パートナーシップ) です。